

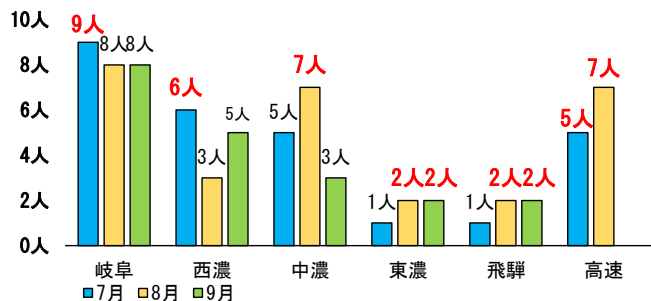
7～9月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R3～R7）の死亡事故データから見る ～

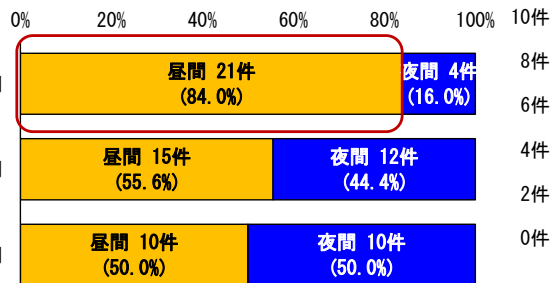
7～9月の死者数は、四半期で比較すると年間で2番目に多い。7月は昼間の事故が8割以上占めるものの、8月以降は夜間の事故の割合が増加している。また、8月は高速道路での事故が年間で最も多いほか、7月は国道、9月は市町村道での事故が多い。また、信号機のない交差点の事故や単路での事故が多い。

《7月》死者27人 国道での事故が多い。単路での事故が多く、漫然運転による事故が多い。
 《8月》死者29人 漫然運転による単独事故が多い。速度超過や飲酒運転等の悪質違反による事故が多い。自動二輪の被害が年間で最も多い。
 《9月》死者20人 時間帯では16時～20時に事故が多い。市町村道での事故が多い。歩行者の被害が多く、道路横断中の事故が多い。

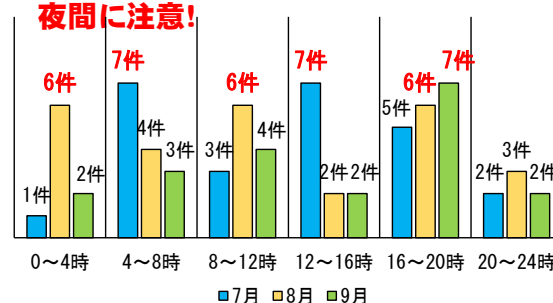
8月に高速の交通事故死者が年間で最多!



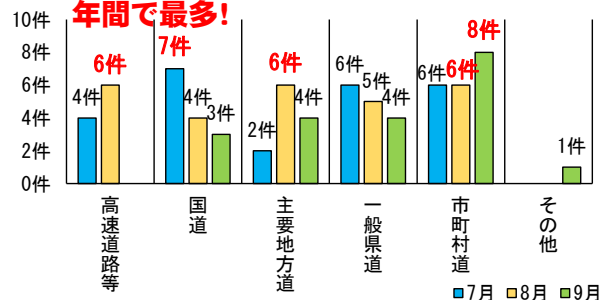
7月は昼間の事故に注意!



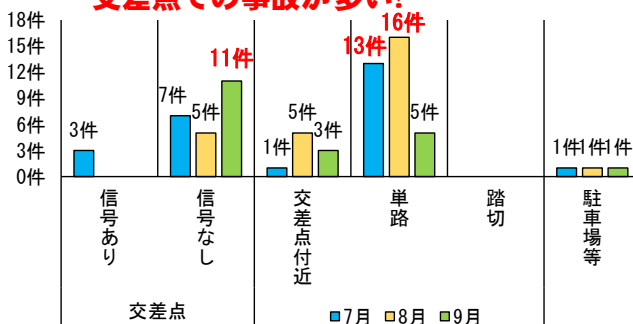
7月は早朝から昼間、9月は夕暮れから夜間に注意!



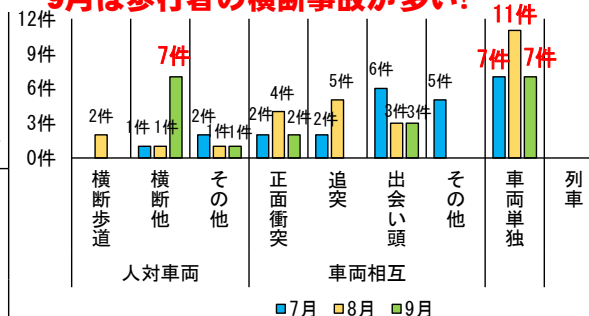
7月は国道、8月は高速道路での事故が年間で最多!



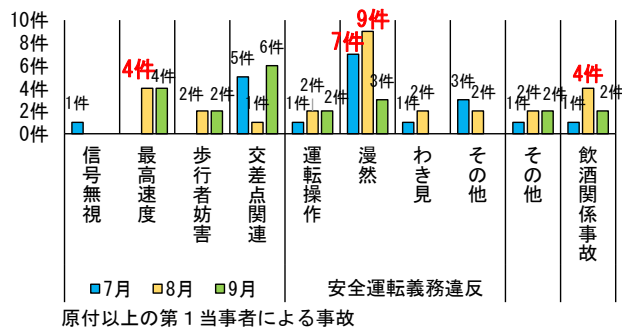
7月・8月は単路、9月は信号のない交差点での事故が多い!



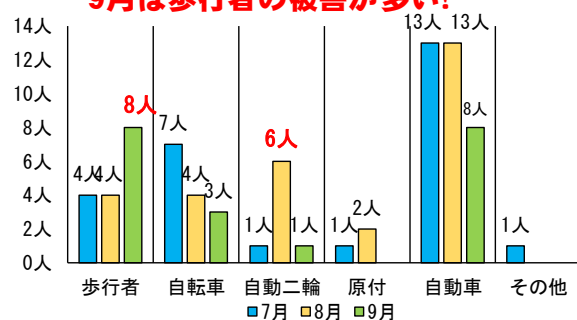
7月は早朝から昼間、9月は夕暮れから夜間に注意!



8月は漫然運転による事故のほか、速度超過や飲酒関係の事故が多い!



8月は自動二輪乗車中、9月は歩行者の被害が多い!



7月は50代、9月は若年運転者の事故が多い!

